

# 妊娠期における夢のなかの感情

## —5人の初産婦の夢分析から—

山根 望\*・名島潤慈

An Analysis of Feelings in Dreams of Five Primiparae during Pregnancy

Nozomi YAMANE and Junji NAJIMA

(Received September 25, 2009)

キーワード：妊娠、妊婦の夢、感情

### I 本稿のねらい

多くの女性が妊娠2、3か月目で妊娠が判明することを考えると、女性は実質7、8か月ほどの短い間に社会的・身体的・心理的变化を経験する。心理的にも生活面でも母親になる準備をしなくてはならない。特に、初産婦にとっては初めての妊娠生活・育児生活である。この、初めて母親になる女性の心理的プロセスというのはいったいどのようなものであろうか。現在のところ、妊婦の心理に関する研究は非常に少ない（花沢，1992；山根ら，2006）。

現在われわれは女性が初めての妊娠を自覚してから、それまで培った母性をより一層発達させ、母親同一性を形成していく過程を研究しているが、そのさい、意識的側面だけでなく無意識的側面も投映されている夢を聴取している（山根，2006；名島ら，2008；山根・名島，2008）。妊婦に関するこれまでの夢研究から、夢のなかの感情としては不安や恐怖がよく現れることが知られている（鑪，1979；武内，1984；Blake & Reimann，1993；的場，1998；原田，2006）。ただし、夢のなかの感情を吟味するさいにはHall & Van de Castle（1966）による5つの感情分類をもとにして、5つないし6つのカテゴリーに分類している研究がほとんどである（武内，1984；的場，1998；原田，2006）。しかし、健常をも含む種々の病態にある14人の夢主の計701個の夢のなかに表れる感情（情動）をカテゴリー化した名島（2008）の研究によれば、夢のなかの感情は合計16個の感情カテゴリーに分類される。本稿では、5人の初産婦の夢のなかに現れた感情をこの16個の感情カテゴリーに分類し、妊娠期における初産婦の感情の特徴について検討する。

### II 検討対象の夢の数と感情カテゴリー

検討の直接資料はわれわれの手元にある夢で、それらは、①出産時27歳のA（妊娠判明時は常勤の高校講師で、後に退職）の、妊娠6か月から出産までの計3個の夢、②出産時30歳のB（心理系大学院修士課程在籍）の、妊娠1か月から出産までの計98個の夢、③出産時30歳のC（教育関係の職についていたが、妊娠判明時は専業主婦）の妊娠2か月から出産までの計31個、④

---

\* 山口大学大学院東アジア研究科

出産時32歳のD（専業主婦）の妊娠4か月から出産までの計21個の夢、⑤出産時34歳のE（看護師をしていたが、妊娠・出産時には英会話教室を経営）の、妊娠5か月から出産までの計12個の夢である。調査協力者はすべて初産婦である。これらのうち、BとCは妊娠初期から出産まで調査できたが、それ以外に関しては調査を依頼した時点で妊娠がかなり経過していた場合もあり、調査協力者間で夢の数にばらつきがでた。なお、Aの場合はずっと後からの回想夢ではあるが（山根，2006）、非常に興味深い夢ばかりなので検討対象に含めた。

16個の感情カテゴリー（名島，2008）は、①「幸せな」「大変すばらしい」「この上なく満足した」の群（幸福感 happiness）、②「わくわくした」「興奮した」の群（興奮 excitement）、③「楽しい」「うれしい」「気持ちいい」の群（楽しさ・喜び pleasure & joy）、④「親しみのこもった」「なじみ深い」「いとしい」の群（親愛感 affection）、⑤「ほっとした」「安心な」「くつろいだ」の群（安心感・落ち着き security & calmness）、⑥「驚いた」「仰天した」の群（驚き surprise）、⑦「困惑した」「あわてふためいた」「混乱した」の群（困惑・混乱 embarrassment & confusion）、⑧「不安な」「心配な」「落ち着かない」の群（不安・心配 anxiety & worry）、⑨「悲しい」「落胆した」「うつつした」「さみしい」の群（悲しみ sadness）、⑩「怒った」「しゃくにさわる」の群（怒り anger）、⑪「恐ろしい」「ぞっとする」の群（恐怖 fear）、⑫「不愉快な」「嫌な」「気持ち悪い」の群（不快・嫌悪 discomfort & aversion）、⑬「焦った」「張りつめた」の群（焦り・緊張 impatience & strain）、⑭「すまない」「申し訳ない」の群（罪悪感 guilt）、⑮「嫉妬している」「うらやむ」の群（嫉妬・羨望 jealousy & envy）、⑯「劣った」「恥ずかしい」の群（劣等感・恥 inferiority & shame）である（括弧のなかがカテゴリー名である。例えば①では「幸福感 happiness」）。

検討対象の感情は、調査協力者の夢についての記述のなかから感情表現をすべて抜き出し、検討対象とした。したがって、夢によっては複数の感情が現われたものもあるし、逆に「特でない」「分からない」といった記述では感情をまったくカウントしていない。

### Ⅲ 妊娠期の夢に現れた感情の分析

#### 1. 初産婦Aの妊娠期における夢のなかの感情

Aは調査開始時点ですでに妊娠6か月であった。夢内容は、①「育てたトマトを姉に全部調理される夢」で、夢のなかの感情は「楽しさ・喜び→悲しみ」であった。Aが妊娠7か月のときに見た夢は②「火事を見に屋上に上がって、それから塾にいる夢」で、夢のなかの感情は塾で居心地が悪いという「不快・嫌悪」と、妊娠中に火事を見てしまって赤ちゃんにあざができるのではないかという「不安・心配」であった。妊娠8か月に見た夢は③「ふぐ汁を食べなかったことに満足する夢」で、夢のなかの感情については、胎児のためにふぐ汁を食べない自分に満足するという「満足感（幸福感）」が現われた。したがって、妊娠中期には、「楽しさ・喜び」「悲しみ」「不快・嫌悪」「不安・心配」「幸福感」がそれぞれ1個であった。

Aの場合夢の数が3つと少なく、量的な分析はできない。しかし、妊娠の中・後期に入り、赤ちゃんに関係する感情が5つのうち2つもあったことは興味深い。また、③の夢を見てAは、母親になったことで満足感の内容が変化したことを確認した。夢と面接中のAの言葉から、妊娠後期に入り胎動を通して赤ちゃんの存在を実感できるようになったことで、Aの母親としての同一性がかかなり形成されつつあることが夢から読みとれる。ただし、母親同一性の形成と同様に母親としての自分に過剰適応することに対して諫める夢であるとAは解釈している。

## 2. 初産婦 B の妊娠期における夢のなかの感情

B の夢は、妊娠初期で39個 (D1～D39)、妊娠中期で27個 (D40～D66)、妊娠後期で32個 (D67～D98)、合計98個と非常に多い (D は Dream の頭文字)。表 1 に妊娠各期と妊娠期全体における感情の割合を示した。表中、妊娠初期は妊娠 1～4 か月、妊娠中期は妊娠 5～7 か月、妊娠後期は妊娠 8～10 か月である。

表 1 初産婦 B の夢に現れた感情の割合

	妊娠初期	妊娠中期	妊娠後期	妊娠期全体
幸福感	6 ( 7.1)	5 ( 6.0)	6 ( 5.7)	17 ( 6.2)
興奮	3 ( 3.5)	3 ( 3.6)	4 ( 3.8)	10 ( 3.6)
楽しさ・喜び	13 (15.3)	9 (10.7)	10 ( 9.5)	32 (11.7)
親愛感	5 ( 5.9)	1 ( 1.2)	4 ( 3.8)	10 ( 3.6)
安心感・落ち着き	6 ( 7.1)	5 ( 6.0)	12 (11.4)	23 ( 8.4)
驚き	6 ( 7.1)	12 (14.3)	18 (17.1)	36 (13.1)
困惑・混乱	3 ( 3.5)	7 ( 8.3)	4 ( 3.8)	14 ( 5.1)
不安・心配	9 (10.6)	11 (13.1)	15 (14.3)	35 (12.8)
悲しみ	7 ( 8.2)	7 ( 8.3)	10 ( 9.5)	24 ( 8.8)
怒り	3 ( 3.5)	0 ( 0.0)	6 ( 5.7)	9 ( 3.3)
恐怖	9 (10.6)	2 ( 2.4)	5 ( 4.8)	16 ( 5.8)
不快・嫌悪	4 ( 4.7)	6 ( 7.1)	2 ( 1.9)	12 ( 4.4)
焦り・緊張	11 (12.9)	13 (15.5)	6 ( 5.7)	30 (10.9)
罪悪感	0 ( 0.0)	2 ( 2.4)	2 ( 1.9)	4 ( 1.5)
嫉妬・羨望	0 ( 0.0)	1 ( 1.2)	0 ( 0.0)	1 ( 0.4)
劣等感・恥	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)	1 ( 1.0)	1 ( 0.4)
合計	85	84	105	274

( ) 内は%

母性や母親同一性の特徴でもある「親愛感」は妊娠初期に最も多く出現し、いったん中期に減少し、後期に再び増加している。妊娠中期に B が修士論文作成や実習で忙しく胎児に対する意識が低かったためと思われるが慎重な吟味が必要である。「驚き」は妊娠期全体で最もよく出現している。また、妊娠経過が進むにつれて増加している。D84「胎動が始まりお腹が焼き餅のようにふくれる夢」の感想に「最近胎動が激しくて、お腹のなかに人間がいるのがわかる。あまりに激しいので戸惑うことも多い」と書かれているが、妊娠中期からの胎動とお腹の膨らみと「驚き」の感情は関係していると思われる。妊娠期全体を見ると、「驚き」に次いで「不安・心配」が多く出現しており、妊娠経過が進むにつれて増加している。夢記録でも出産や育児に対する不安についての記述が増えていることから、出産や育児に対する B の不安が増加してい

たことの現われであると言える。それから、「恐怖」は妊娠初期にもっとも出現し、妊娠中期で減少している。このことは、Bの夢記録から考えると、流産や障害に対する恐怖が減少したことと関係があるかもしれない。また、妊娠後期に増加したのは、出産に対するBの恐怖が増加したことと結びついているかもしれない。

「焦り・緊張」は妊娠の初期・中期で高い割合で出現している。Bが妊娠初期と中期にはつわりや体調不良で思うように研究が進まなかったことと関係があるだろう。また、妊娠後期に減少しているが、それは、妊娠後期に入って修士論文が一段落し、Bが出産や育児について考える時間が多くなったためであると思われる。

Bの場合、「楽しさ・喜び」「驚き」「不安・心配」の割合が大きく、的場(1998)の研究結果と類似したものであった。ただし、Bの場合、「焦り・緊張」も出現回数が多い。これは、Bの社会的自分と母親になろうとしている自分との間の葛藤が大きいことを示しており、また修士論文提出や就職をひかえていたというBの社会的状況と大きく関係していると思われる。

### 3. 初産婦Cの妊娠期における夢のなかの感情

Cの夢は、妊娠初期で13個(D1~D13)、妊娠中期で13個(D14~D26)、妊娠後期で5個(D27~D31)、合計31個である。初産婦Cに関しても感情の分類を表2にまとめた。

表2 初産婦Cの夢に現れた感情の割合

	妊娠初期	妊娠中期	妊娠後期	妊娠期全体
幸福感	1 ( 3.6)	1 ( 5.2)	0 ( 0.0)	2 ( 3.7)
興奮	0 ( 0.0)	2 (10.5)	0 ( 0.0)	2 ( 3.7)
楽しさ・喜び	4 (14.3)	3 (15.9)	2 (28.9)	9 (16.7)
親愛感	2 ( 7.1)	1 ( 5.2)	0 ( 0.0)	3 ( 5.6)
安心感・落ち着き	3 (10.7)	3 (15.9)	1 (14.3)	7 (13.0)
驚き	2 ( 7.1)	2 (10.5)	1 (14.3)	5 ( 9.3)
困惑・混乱	2 ( 7.1)	1 ( 5.2)	0 ( 0.0)	3 ( 5.6)
不安・心配	5 (17.9)	2 (10.5)	1 (14.3)	8 (14.8)
悲しみ	2 ( 7.1)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)	2 ( 3.7)
怒り	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)
恐怖	2 ( 7.1)	2 (10.5)	0 ( 0.0)	4 ( 7.4)
不快・嫌悪	1 ( 3.6)	1 ( 5.2)	1 (14.3)	3 ( 5.6)
焦り・緊張	2 ( 7.1)	1 ( 5.2)	1 (14.3)	4 ( 7.4)
罪悪感	1 ( 3.6)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)	1 ( 1.9)
嫉妬・羨望	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)
劣等感・恥	1 ( 3.6)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)	1 ( 1.9)
合計	28	19	7	54

( ) 内は%

Cの夢に現れた感情を見ると、「楽しさ・喜び」と「安心感・落ち着き」が妊娠期全体を通して多く出現している。妊娠初期からCの夢には母親として子どもとうまく関わっているCの姿が現われていることから(D3, D6, D10)、妊娠以前から育児に対する不安が少なかったと推測できる。それは、Cの妹がすでに兄妹を産んでおり、出産・育児についての知識と経験があったことと関係があるだろう。また、「焦り・緊張」が少ない背景として、妊娠判明時に専業主婦であったので、AやBのように妊娠を機に社会的立場が変わったり、職業に関する葛藤を抱えたりすることがほとんどなかったこととも関係しているかもしれない。また、元来物事を楽観的にとらえる傾向の強いCの性格も関係しているであろう。

#### 4. 初産婦Dの妊娠期における夢のなかの感情

Dの夢は妊娠初期で2個(D1~D2)、妊娠中期で13個(D3~D15)、妊娠後期で6個(D16~D21)、合計21個である。Dの場合、妊娠4か月から調査を開始したので妊娠初期の夢数が極端に少ない。したがって、妊娠初期、中期、後期、および妊娠期全体を通して感情の推移を分析することは困難である。しかしながら、妊娠期全期にわたって夢が収集できたので、Dの夢に現れた感情についても表を用いる(表3)。

表3 初産婦Dの妊娠期の夢に現れた感情の割合

	妊娠初期	妊娠中期	妊娠後期	妊娠期全体
幸福感	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)
興奮	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)
楽しさ・喜び	1 (25.0)	3 (14.2)	2 (25.0)	6 (18.1)
親愛感	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)
安心感・落ち着き	0 ( 0.0)	2 ( 9.5)	1 (12.5)	3 ( 9.0)
驚き	0 ( 0.0)	1 ( 4.8)	0 ( 0.0)	1 ( 3.0)
困惑・混乱	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)	1 (12.5)	1 ( 3.0)
不安・心配	0 ( 0.0)	3 (14.2)	0 ( 0.0)	3 ( 9.0)
悲しみ	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)	1 (12.5)	1 ( 3.0)
怒り	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)	1 (12.5)	1 ( 3.0)
恐怖	0 ( 0.0)	1 ( 4.8)	0 ( 0.0)	1 ( 3.0)
不快・嫌悪	2 (50.0)	2 ( 9.5)	1 (12.5)	5 (15.1)
焦り・緊張	0 ( 0.0)	6 (28.6)	1 (12.5)	7 (21.2)
罪悪感	0 ( 0.0)	1 ( 4.8)	0 ( 0.0)	1 ( 3.0)
嫉妬・羨望	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)
劣等感・恥	1 (25.0)	2 ( 9.5)	0 ( 0.0)	3 ( 9.0)
合計	4	21	8	33

( ) 内は%

Dの特徴としては、妊娠中期以降、「焦り・緊張」と「楽しさ・喜び」の割合が比較的高いことが挙げられる。「楽しさ・喜び」は全期にわたって多く出現していることは、Dが妊娠を希望していたことや、Dの記録によると夫や実家のサポートが多かったことと関係があるかもしれない。このような心理的背景はCの場合と共通している。しかし、妊娠期全体を通して「焦り・緊張」の出現が最も多かった。このことは、Dが現実生活でカルチャーセンターの展覧会に出す絵を出産前に仕上げねばならなかったことと関係があるかもしれない。また、「劣等感・恥」や「罪悪感」など他の初産婦にはほとんど現れなかった感情が出現している。これは、物忘れが多いことや「人の先頭に立ちたくない」というDの性格特性と関係があるかもしれない。

### 5. 初産婦Eの妊娠期の夢に現れた感情

Eの場合、妊娠中期（5か月）から調査を始めたので、妊娠初期の夢記録がまったくない。Eの夢の数は、妊娠中期で9個（D1～D9）、妊娠後期で3個（D10～D12）、合計12個である。妊娠中期には、「焦り・緊張」が3個（30.0%）、「楽しさ・喜び」「怒り」がそれぞれ2個（20.0%）、「安心感・落ち着き」「不安・心配」「怒り」「不快・嫌悪」「劣等感・恥」がそれぞれ1個（10.0%）であった。妊娠後期では、「焦り・緊張」が2個（50.0%）、「不安・心配」と「恐怖」が1個（25.0%）であった。妊娠期全体では、「焦り・緊張」が5個（36.3%）と一番多く、次いで「楽しさ・喜び」と「不安・心配」が2個（14.2%）、「安心感・落ち着き」「不安・心配」「怒り」「恐怖」「劣等感・恥」がそれぞれ1個（7.1%）であった。

Eの夢に現れた感情を見ると、「焦り・緊張」が最も多かった。「学校に遅刻しそうになる夢」（D2）や「患者の点滴や尿の管が取れてしまって急いでやらなくてはならない夢」（D5）など急いで何かをしなくてはならない夢が多い。Eの記録には、出産時期が4月で夫と共同経営している英会話教室の運営が非常に忙しい時期と重なっており、新しい年度に向けた準備で忙しかったと記述されている。妊娠・出産で思うように動けないなかで出産というタイムリミットが刻々と迫っているという妊婦独特の心理的葛藤が表れていると言える。

### 6. 夢に登場したわが子に対する感情

妊娠期の夢で非常に興味深いことは、まだ見ぬわが子が夢に現れることである（乳幼児の姿が多い）。自分の子どもがまったく登場していないE以外の4人の夢（合計153個）のうち、自分の子どもが登場した（胎児・胎動も含む）夢は合計25個（16.3%）で、出現した感情は合計46個であった。

子どもが登場する夢においては、「楽しさ・喜び」（7個、15.2%）、「幸福感」（5個、10.9%）、「安心感・落ち着き」（6個、13.0%）がよく現れた。例えば、AではD3「赤ちゃんのためにふぐ汁を食べなかった自分に満足する夢」（幸福感）、BではD49「酪農家で甘いピザを食べたら胎動を感じる夢」（嬉しい・楽しい→幸福感→驚き、楽しさ・喜び）やD96「託児所で男の子の赤ちゃんに授乳したらよく吸ってくれた夢」（幸福感、親愛感）など、CではD3「2歳くらいの女の子と弓道場に行つて練習する夢」（楽しさ・喜び）、D10「男の子が甥や姪と遊んでいて安心する夢」（安心感・落ち着き）、D12「自分も友人も無事出産して嬉しい夢」（楽しさ・喜び）があった。「楽しさ・喜び」といった感情には、①母親としての自分を受け入れつつあること、②胎動の喜び、③育児生活についての肯定的イメージが関係していると言える。

われわれは「親愛感」が母親になる心理において非常に重要な要素であると考えているが、「親愛感」（4個、8.7%）が現れた夢は、BのD15「大雪のなか中学生の息子が自力で帰ってきて愛しく思う夢」（親愛感）や同じくBのD92「出産したら子ども（5、6歳の男の子）が

水頭症でショックを受けるがぎゅっと抱きしめる夢」(驚き→親愛感)があった。2つの夢に共通していることは、希望した性別でない場合や障害を持っているなど、Bにとって望ましくない状況であったことである。D92の記録に、「赤ちゃんが男であろうと女であろうと、障害かあろうとなかろうと自分の子どもとして受け入れる心の準備ができつつあるのかもしれない」とBが記述している。つまり、「親愛感」には母性や母親同一性を促す機能があると言える。

夢のなかには「不安・心配」(6個, 13.0%)や「焦り・緊張」(6個, 13.0%)もよく現れていた。例えば、AのD2「妊娠中火事を見て不安に思う夢」(不安・心配)、BのD60「裸の赤ちゃんを抱いていたら下痢をして病院に行こうとする夢」(驚き→不安・心配→困惑・混乱)、D69「赤ちゃんに授乳しようとするが飲んでくれず、熱もあって心配する夢」(驚き→心配・不安→焦り・緊張→困惑・混乱)、CのD4「女の赤ちゃんのおむつを確認し、授乳する夢」(困惑・混乱、不安・心配)、DのD19「夫とレストランに食事に行き、3歳くらいの男の子に大人用の食事を食べないように説得する夢」(焦り・緊張)など。「不安・心配」といった感情には、授乳や病気など育児に対する不安や、赤ちゃんを守らなくてはならないという母親意識の発達が関係していると思われる。また、的場(1998)が指摘しているように、出産や育児という来るべき事態に備えるという側面も有しているだろう。

#### IV 総合考察

5人の夢には「楽しさ・喜び」「不安・心配」「焦り・緊張」が多く見られたが、これは、武内(1984)、的場(1998)、原田(2006)の結果と類似している。「楽しさ・喜び」の割合が高かった理由としては、5人とも①妊娠を希望していたこと、②胎児の発育が順調だったこと、③妊娠経過が順調だったこと、④夫婦関係が良好で身体的、心理的サポートが得られていたこと、⑤このように恵まれた状況下だったので妊娠生活に適応しやすかったことが考えられる。その一方、「焦り・緊張」がB・D・Eの夢のなかで高い割合で出現している。これは、3人ともに出産までに終えなくてはならない課題や仕事があり、妊娠による生活の制限や社会生活に対する焦りが大きかったためと思われる。なお、「親愛感」はBとCで現われた。Bが子どもと関わるが多かったことや、Cが妊娠前から甥や姪の面倒をよくみていたことと関係があるように思われる。しかし、Eも職業上子どもと関わる機会が多かったが「親愛感」は出現しなかった。この点についてはさらなる調査・分析が必要である。

#### 文献

- Blake, R. L. & Reimann, J. (1993) The pregnancy-related dreams of pregnant women. *Journal of the American Board of Family Practice*, 6(2), 117-122.
- Hall, C. S. & Van de Castle, R. L. (1966) *The content analysis of dreams*. New York: Appleton-Century-Crofts.
- 花沢成一(1992)母性心理学. 医学書院.
- 原田梨沙(2006)妊娠・出産・育児期における女性の心理的プロセス—ある初産婦の夢分析から. 山口大学大学院教育学研究科修士論文.
- 的場みぎわ(1998)妊娠・出産・育児過程における女性の夢の研究. 箱庭療法学研究, 11(2), 85-92.
- 名島潤慈(2008)夢のなかに表れる感情の分類. 山口大学心理臨床研究, 8, 3-12.
- 名島潤慈・山根望(2008)妊娠期における夢のなかの感情についての検討. 山口大学教育学部

- 附属教育実践総合センター研究紀要, 25, 375-386.
- 武内珠美 (1984) 妊産婦に関する夢の研究—夢に表わされた情動と夢内容について. 広島大学大学院教育学研究科博士課程論文集, 10, 139-145.
- 鑪幹八郎 (1979) 夢分析の実際—心の世界の探求. 創元社.
- 山根 望 (2006) 妊娠・子育て期における夢の機能—ある初産婦の能動的夢分析から. 山口大学心理臨床研究, 6, 30-41.
- 山根 望・河合可南子・八田有加・佐藤直弘・渡邊ふくみ・名島潤慈 (2006) 妊娠と出産に関する夢研究の展望. 山口大学教育学部附属教育実践総合センター研究紀要, 22, 193-204.
- 山根 望・名島潤慈 (2008) 初産婦の夢—妊娠・育児期の夢に現れた動物の意味の検討. 山口大学教育学部研究論叢, 58, 第3部, 241-249.